世界M＆A戦略株ファンド（愛称：目利き力）

<2784>

追加型投信／内外／株式
日経新聞掲載名：世界MA戦略

第６期　2023年12月１日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のM＆A関連企業の株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第６期末	基準価額	10,596円
	純資産総額	3,523百万円
第６期	騰落率	6.8%
	分配金	550円

（注）騰落率は分配金（税込み）を含めて計算したものです。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management
大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　受付時間　9：00～17：00（営業日のみ）
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

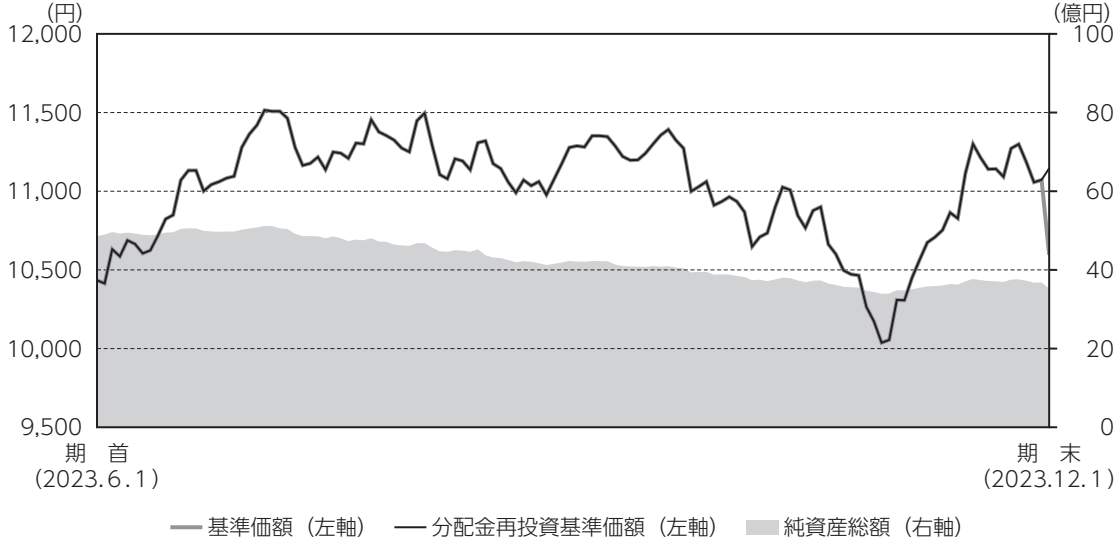
UD FONT　見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

◇TKU0278420231201◇

「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法
上記のURLにアクセス　→　ファンド検索欄にファンド名を入力　→　リストから当ファンドを選択　→　運用報告書（全体版）を選択

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期　首：10,434円
期　末：10,596円（分配金550円）
騰落率：6.8％（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

グローバル株式市況が上昇したことや、為替相場が円安で推移したことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

１万口当りの費用の明細

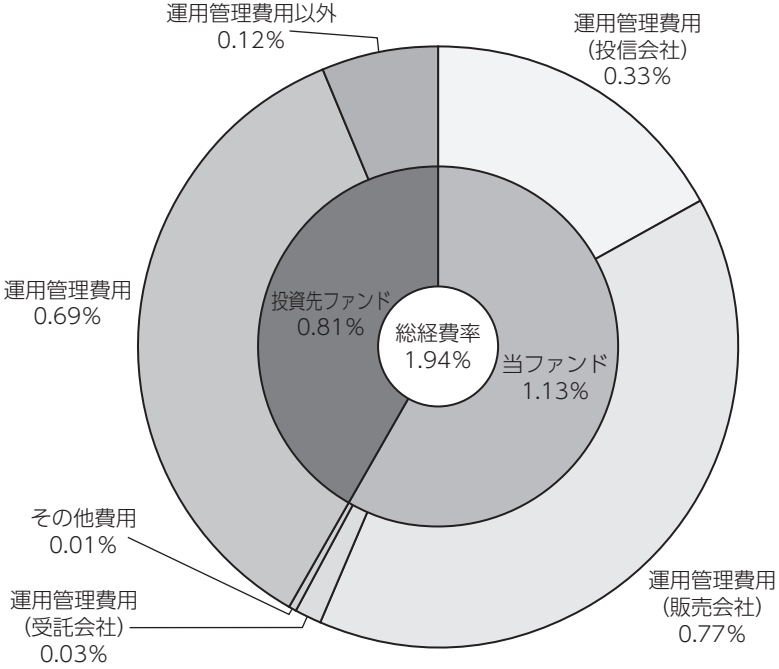
項　　目	当期 (2023.6.2～2023.12.1)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	62円	0.564%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は11,023円です。**
（投 信 会 社）	(18)	(0.165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(42)	(0.385)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	63	0.568	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

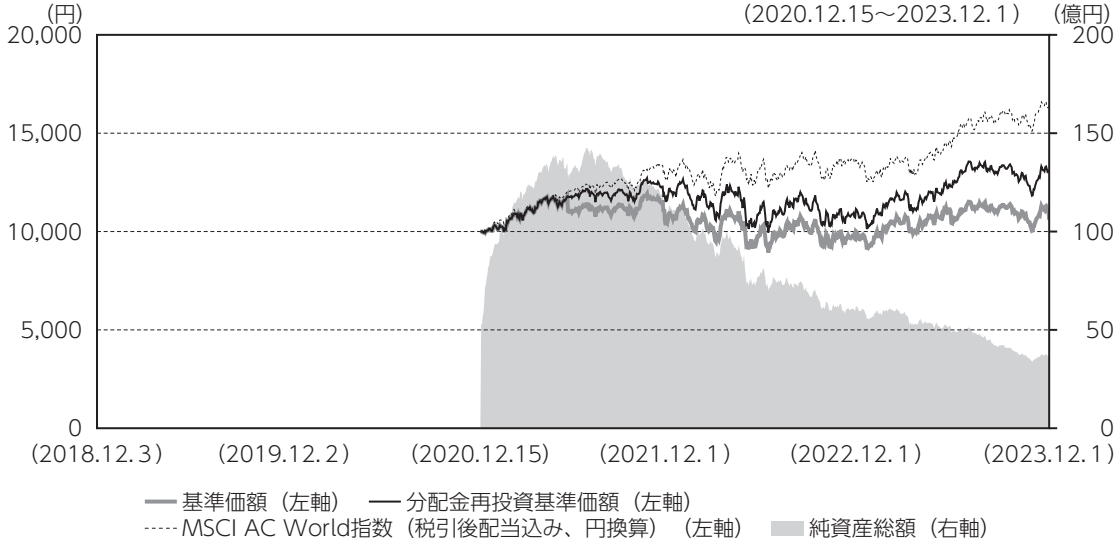
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94％です。



総経費率（①＋②＋③）	1.94％
①当ファンドの費用の比率	1.13％
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69％
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12％

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
（注4）各比率は、年率換算した値です。
（注5）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近５年間の基準価額等の推移について



（注）参考指数は、2020年12月15日を10,000として指数化したものです。

＊参考指数はMSCI AC World指数（税引後配当込み、円換算）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

		2020年12月15日 設定	2021年12月１日 決算日	2022年12月１日 決算日	2023年12月１日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,502	10,012	10,596
期間分配金合計（税込み）	(円)	－	1,200	0	1,150
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	－	17.0	△4.7	17.7
MSCI AC World指数（税引後配当込み、円換算）騰落率	(%)	－	27.4	7.0	20.8
純資産総額	(百万円)	5,277	10,794	6,213	3,523

（注１）比率は小数点第１位未満を四捨五入してあります。
（注２）MSCI AC World指数（税引後配当込み、円換算）は、ＭＳＣＩ Inc.（「ＭＳＣＩ」）の承諾を得て、MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。またＭＳＣＩは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html）
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

（2023.6.2～2023.12.1）

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首から2023年７月下旬にかけて、ＡＩ（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しや米国の債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感され、上昇しました。８月以降は、米国国債の増発やＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通しの引き上げ、米国政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、株価は下落しました。10月に入ると、米国でつなぎ予算の成立によって政府機関の閉鎖が回避されたことを受けて一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、続落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことなどが好感されて大幅に上昇し、当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドル為替相場は、対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、2023年６月末にかけて上昇しました。しかし７月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、米ドルは対円で下落（円高）しました。８月以降は、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、米ドルは対円で上昇しました。当作成期末にかけては、米国金利の大幅な低下を背景に日米金利差の縮小が意識され、米ドルは対円で上昇幅を縮小しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資します。また、「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）

企業の成長戦略として積極的にM＆Ａ（合併・買収）を活用する企業は、変化する社会経済情勢に素早く適応し、成長力を高めることができると考えます。卓越した目利き力でM＆Ａを成功に導く「M＆Ａ巧者」を厳選しつつ、バリュエーションにも注意を払った運用を継続し、長期的に優れたリターン獲得を追求します。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2023.6.2～2023.12.1）

■当ファンド

当ファンドは、「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）

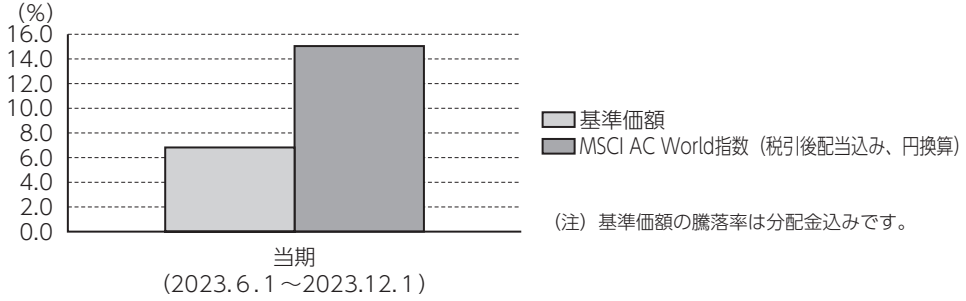
有望企業を発掘する「インキュベーター」、優良事業を有利な条件で取り込む「コングロマリット」、事業統合で成長を加速させる「オペレーター」といった３タイプの「M＆A買収側企業」に注目し、卓越した目利き力でM＆A（合併・買収）を成功に導く「M＆A巧者」を厳選し、投資しました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目		当期 2023年６月２日 ～2023年12月１日
当期分配金（税込み）	**（円）**	**550**
対基準価額比率	（%）	4.93
当期の収益	（円）	550
当期の収益以外	（円）	－
翌期繰越分配対象額	（円）	596

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注４）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目		当期
（ａ）経費控除後の配当等収益		0.00円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	✓	710.77
（ｃ）収益調整金		435.58
（ｄ）分配準備積立金		0.00
（ｅ）当期分配対象額（ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ）		1,146.36
（ｆ）分配金		550.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（ｅ－ｆ）		596.36

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資します。また、「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）

企業の成長戦略として積極的にM＆A（合併・買収）を活用する企業は、変化する社会経済情勢に素早く適応し、成長力を高めることができると考えます。卓越した目利き力でM＆Aを成功に導く「M＆A巧者」を厳選しつつ、バリュエーションにも注意を払った運用を継続し、長期的に優れたリターン獲得を追求します。

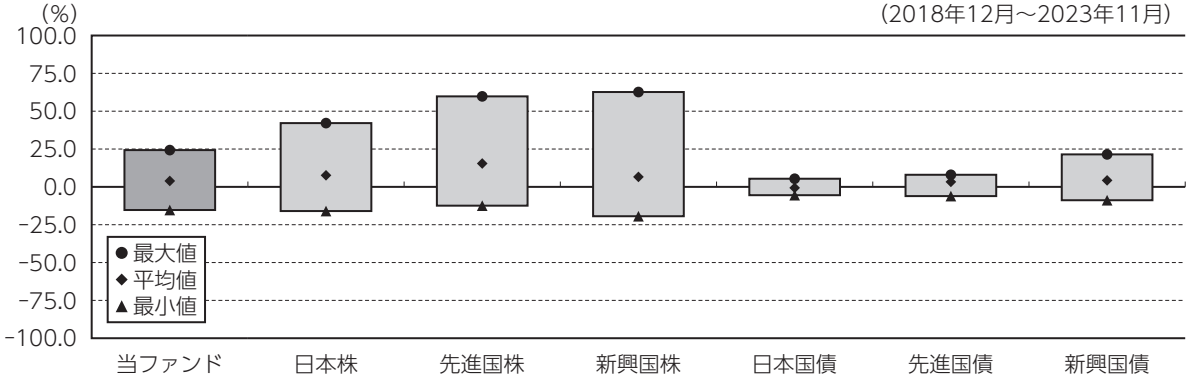
■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年12月15日～2025年12月１日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ．ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）の受益証券への投資を通じて、M＆Aを成長戦略の要とし、外部成長の取り込みにより企業価値向上を図っている世界（日本を含みます）の企業の株式等に投資を行ない、信託財産の成長をめざします。 ※株式等には、ＤＲ（預託証券）、リート（不動産投資信託証券）、優先証券を含みます。 ②当ファンドは、グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）とマザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が１年未満、取得時においてＡ－２格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最　大　値	24.3	42.1	59.8	62.7	5.4	8.0	21.5
平　均　値	3.9	7.6	15.4	6.6	△0.6	3.3	4.3
最　小　値	△15.3	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去５年間における年間騰落率（各月末における直近１年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。
※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。
※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
※ファンドの年間騰落率において、過去５年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。
①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。
※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
※資産クラスについて
日本株……配当込みＴＯＰＩＸ
先進国株……ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株……ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債……ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債……ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債……ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について
●配当込みＴＯＰＩＸの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●ＭＳＣＩコクサイ・インデックスおよびＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックスは、ＭＳＣＩ Inc.（「ＭＳＣＩ」）が開発した指数です。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html）●ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●ＦＴＳＥ世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

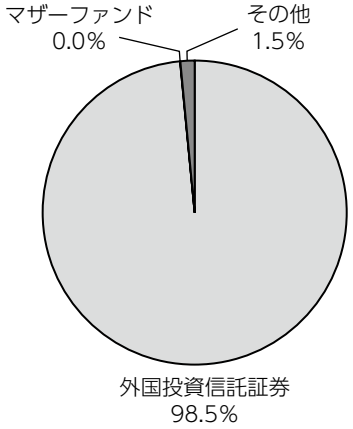
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

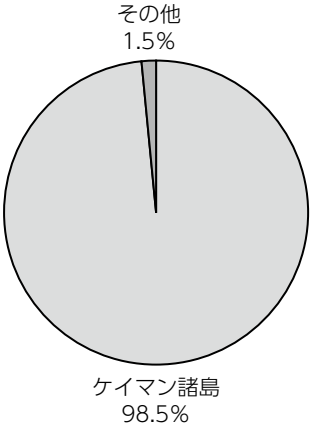
■組入ファンド等

	比　率
グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）	98.5%
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	0.0
その他	1.5

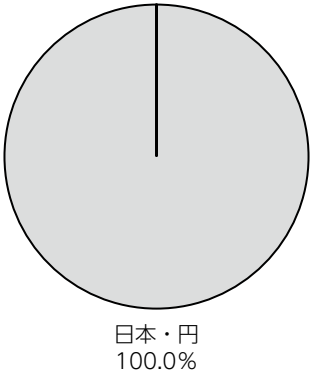
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注１）上記データは2023年12月１日現在のものです。
（注２）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注３）国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。
※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位３ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項　　目	当　期　末
	2023年12月１日
純資産総額	3,523,019,018円
受益権総口数	3,324,764,972口
１万口当り基準価額	10,596円

＊当期中における追加設定元本額は94,537,403円、同解約元本額は1,424,255,354円です。

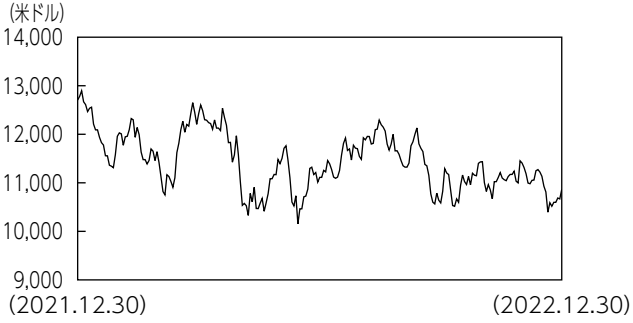
＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）（作成対象期間　2021年12月31日～2022年12月30日）

※直近で入手可能なFinancial Statements作成期間です。

■１口当り評価額の推移



（注）国内の営業日の評価額を記載しています。

■１口当りの費用の明細

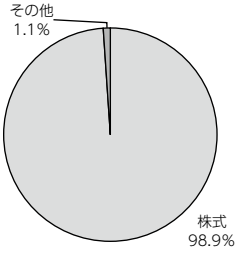
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

■組入上位銘柄

銘柄名	比率
Prosus N.V. Class N	8.9%
TransDigm Group Incorporated	8.3
Take-Two Interactive Software, Inc.	6.5
Roper Technologies, Inc.	6.1
Constellation Software Inc.	5.9
Intercontinental Exchange, Inc.	5.5
Stryker Corporation	5.4
Walt Disney Company	5.0
Okta, Inc. Class A	4.5
Danaher Corporation	4.1
組入銘柄数	25銘柄

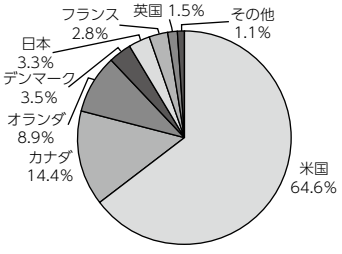
（注）比率は純資産に対する比率です。

■資産別配分



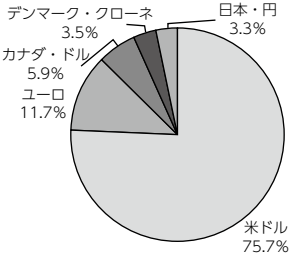
（注）比率は純資産に対する比率です。

■国別配分



（注）比率は純資産に対する比率です。

■通貨別配分

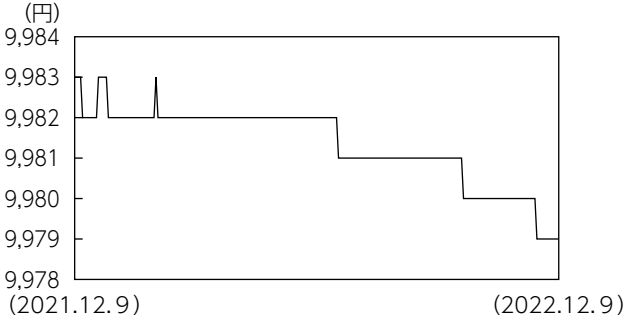


（注）比率は純資産に対する比率です。

＊組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。
＊組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。
＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

◆ダイワ・マネーアセット・マザーファンド（作成対象期間　2021年12月10日～2022年12月９日）

■基準価額の推移



■１万口当りの費用の明細

項　　目	
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用	－
合　　計	－

■組入資産

2022年12月９日現在、有価証券等の組み入れはありません。

（注１）基準価額の推移、１万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。
（注２）１万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。
＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

Memo

Memo

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management